

科目名	単位数	学年	学期	必修・選択	対象
美術Ⅲ	2	3	全	選択	2.3.4.5.6.7組

使用教科書・副教材	「美術3」 38-光村・美Ⅲ-303 光村図書			
指導目標	基礎的技能をしっかりと身に付け、多様な表現方法に創意工夫し、創造する能力を養う。			
評価の観点	関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
	興味関心を持って意欲的に取り組むことができたか	内容を理解し、自己や他者との対話等で構想を深めているか	表現意図に沿って効果的に伝わるよう創意工夫が見られるか	作品の良さや美しさを感じ取り、自分や他者の考えに興味や関心を持ち批評、発表することができたか

学期	月	週数	学習内容	学習のねらい	時間
1	4	1	1,オリエンテーション	学習の目標をもたせ、学習意欲を引き出す。自己の将来をイメージさせ、自己紹介シート作成する活動を通して、それぞれの進路目標を実感する機会とする。	4
		2	将来の自己紹介・教科書鑑賞	これまでの美術の学習を振り返り、造形基礎の学習のイメージを持ち、美術の学びの意味や広がりについて考える。	
		3			
	5	4	2,「人物クロッキー」 (絵画表現)	クラスの友人を観察し、特徴を捉えてクロッキーで表現する。モデルの個性を捉えて短時間で表すクロッキーの技法を生かして描く。	6
		5			
		6	3,「映画鑑賞」 ・映像メディア鑑賞	日本でCGの技法が使用された初期のアニメ作品と、連続撮影によるクレアアニメを見比べて、現代の映像メディア表現との差異を感じ取る。	
	6	7	4,「手描セル画制作」 (絵画表現)	アニメーション表現の原点である手描によるセル画アニメーションについての知識を学び、制作を行うことでレイヤーの感覚を身に付けさせ、絵画表現の楽しさを実感させる。	8
		8			
		9			
		10			
	7	11			
		12	5-1,「ポスターで伝える」① ・映画鑑賞 (映像メディア鑑賞)	読書感想画の制作に向けて、映像メディア作品の鑑賞を通して感情や思い、感動を絵に表す活動に対する興味・関心を高揚させ、絵に表す主題や技法の発想を高める。	10
		13	5-2,「ポスターで伝える」② ・読書感想画「本選び」	学校図書館を活用し、読書活動に取り組み、自らの思いや感動を絵に表す「読書感想画」の作品制作の主題を見つけることを目指す。また、読書を通して感じたことを絵の具での作品制作に表すためのアイデアスケッチの活動を行う。	
9	14	5-3,「ポスターで伝える」③ ・読書感想画 (絵画表現)	主題に基づき、色彩理論に基づき、自分の表したいイメージから構図や配色などの画面構成を考え、その効果を工夫しながら表現する。絵に込めた思いや感情、色・形・技法の工夫などから感想を書き、作品の完成を目指す。	16	
	15				
	16				
2	10	17	7,シルクスクリーン 「オリジナルTシャツデザイン」 (デザイン・工芸)	自分が着たいオリジナルのTシャツをデザインする。シルクスクリーン印刷の技法を学び、シルクスクリーンならではの表現方法で制作する。	20
		18			
		19			
		20			
	11	21	8,工芸(陶芸) ①ひも作りによる器制作	粘土の特性を知り、手びねりの基本技法(ひもづくり、タタラ技法、ロクロ技法)を体得する。  ①機能を考え、使用する目的に合うよう器を成形していく。活用シーンを考え、サイズや形などを考えて制作する。 ②食器の用と美について学び、使い勝手がよく美しい形になるようデザインを考案して制作する。表現したいイメージを形にできるような工夫する。 ③電動ロクロの回転による成形技法の特性を理解し、生活の中で活用できる器の制作を行う。	20
		22			
		23			
12	24	②タタラ技法による食器制作 ③ロクロ技法による器制作	素焼き、本焼きを通して、窯詰めの仕方や釉薬のかけ方などを理解する。	20	
	25				
	26				
	27				
3	1	28	まとめ	1年を振り返り、作品管理等のまとめをおこなう。	2
		29			
		30			
	2	31			
		32			
		33			